

平成２８年度 第６回理事会

日 時：平成２８年９月９日（金） １５：３０～１６：３０

場 所：特別会議室（つくば市）

I．報 告

- １．平成２７年度における業務の実績及び第３期中期目標期間における業務の実績に係る評価結果について
- ２．平成２８年度の会計監査人の決定について
- ３．平成２８年度森林総合研究所関係補正予算案の概要について
- ４．平成２９年度森林研究・整備機構関係概算要求の概要について
- ５．森林整備センターの平成２７年度収穫・販売実績について
- ６．その他
 - （１）今後の行事予定について
 - （２）主要行事

理 事 会 資 料
平成28年9月9日



28林整研第162号
平成28年8月19日

国立研究開発法人森林総合研究所

理事長 沢田 治雄 殿

農林水産大臣 山本 有二



国立研究開発法人森林総合研究所の平成27年度における業務の実績及び第
3期中期目標期間における業務の実績に係る評価結果について

このことについて、独立行政法人通則法（平成11年法律第103号）第35条の6第1
項第3号の規定に基づき、別添のとおり業務実績の評価を行ったので、同条第7項の
規定に基づき通知する。



中長期目標（中長期計画）	年度評価					項目別 調査 No.	備考
	23	24	25	26	27		
	年度	年度	年度	年度	年度		
第1 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置							
地域に対応した多様な森林管理技術の開発	a	s	a	B	B	1(1) A	
国産材の安定供給のための新たな素材生産技術及び林業経営システムの開発	a	a	a	B	B	1(1) B	
木材の需要拡大に向けた利用促進に係る技術の開発	a	a	s	A	A	1(2) C	
新規需要の獲得に向けた木質バイオマスの総合利用技術の開発	a	a	a	A	A	1(2) D	
森林への温暖化影響評価の高度化と適応及び緩和技術の開発	a	s	a	A	A	1(3) E	
気候変動に対応した水資源保全と山地災害防止技術の開発	s	s	a	B	B	1(3) F	
森林の生物多様性の保全と評価・管理・利用技術の開発	a	a	s	A	A	1(3) G	
高速育種等による林木の新品種の開発	a	a	a	A	A	1(4) H	
森林遺伝資源を活用した生物機能の解明と利用技術の開発	s	a	s	B	B	1(4) I	
研究基盤となる情報の収集・整備・活用の推進	a	a	a	B	B	1(5)	
林木等の遺伝資源の収集、保存及び配布並びに種苗等の生産及び配布	a	a	a	B	B	1(6)	
被保険者の利便性の確保	-	-	-	-	B	2(1)	
加入促進	-	-	-	-	B	2(2)	
金融業務の特性を踏まえた財務の健全性及び適正な業務運営の確保のための内部ガバナンスの高度化	-	-	-	-	B	2(3)	
研究開発との連携	-	-	-	-	B	2(4)	
事業の重点化の実施	a	a	a	B	B	3(1) ア	
事業の実施手法の高度化のための措置	a	a	a	B	B	3(1) イ	
事業内容等の広報推進	a	a	a	B	B	3(1) ウ	
事業実施コストの構造改善	a	a	a	B	B	3(1) エ	
計画的で的確な事業の実施	a	a	s	B	B	3(2) ア	
事業の実施手法の高度化のための措置	a	a	a	-	-	3(2) イ	
事業実施コストの構造改善	a	a	a	-	-	3(2) ウ	
廃止・完了後の事業に係る債権債務管理、その他の債権債務及び緑資源幹線林道の保全管理業務の実施	a	a	a	B	B	3(3)	
行政機関、他の研究機関等との連携及び産学官連携・協力の強化	s	a	a	B	B	4	
成果の公表及び普及の促進	a	a	a	B	B	5	
専門分野を活かしたその他の社会貢献	a	a	a	B	B	6	
大項目別評定	A	A	A				

中長期目標（中長期計画）	年度評価					項目別 調査 No.	備考
	23	24	25	26	27		
	年度	年度	年度	年度	年度		
第2 業務運営の効率化に関する目標を達成するためとるべき措置							
効率化目標の設定等	a	a	a	B	B	1	
資源の効率的利用及び充実・高度化	a	a	a	B	B	2	
契約の点検・見直し	a	a	a	B	B	3	
内部統制の充実・強化	a	a	a	C	B	4	
効率的・効果的な評価の実施及び活用	a	a	a	B	B	5	
大項目別評定	A	A	A				
第3 財務内容の改善に関する事項							
業務の効率化を反映した予算の作成及び運営（研究開発）	a	a	a	B	B	1(1)	
自己収入の拡大に向けた取組	a	a	a	B	B	1(2)	
積立金の規模の妥当性の検証と必要な保険料率の見直し	-	-	-	-	B	2(1)	
保険料収入の増加に向けた取組	-	-	-	-	B	2(2)	
長期借入金等の着実な償還	a	a	a	B	B	3(1)	
業務の効率化を反映した予算の作成及び運営（水源林造成事業等）	a	a	a	B	B	3(2)	
大項目別評定	A	A	A				
第4 短期借入金の限度額							
研究開発	-	-	-	-	-	1	
森林保険	-	-	-	-	-	2	
水源林造成事業	a	a	a	B	B	3	
大項目別評定	A	A	A				
第5 不要財産の処分及び不要財産以外の重要な財産の譲渡に関する計画							
不要財産の処分及び不要財産以外の重要な財産の譲渡	a	-	a	B	B		
大項目別評定	A	-	A				
第6 剰余金の使途							
研究・育種勘定	-	-	-	-	-	1	
水源林勘定	-	-	-	-	-	2	
特定地域整備等勘定	-	-	-	-	-	3	
大項目別評定	-	-	-				
第7 その他農林水産省令で定める業務運営に関する事項							
施設及び設備に関する計画	a	a	a	B	B	1	
人事に関する計画	a	a	a	B	B	2	
環境対策・安全管理の推進	a	a	a	B	B	3	
情報の公開と保護	a	b	a	B	B	4	
積立金の処分	a	a	a	B	B	5	
大項目別評定	A	A	A				

中長期目標（中長期計画）	年度評価					項目別 調査 No.	備考
	23	24	25	26	27		
	年度	年度	年度	年度	年度		
第1 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置							
地域に対応した多様な森林管理技術の開発	a	s	a	B	B	1(1) A	
国産材の安定供給のための新たな素材生産技術及び林業経営システムの開発	a	a	a	B	B	1(1) B	
木材の需要拡大に向けた利用促進に係る技術の開発	a	a	s	A	A	1(2) C	
新規需要の獲得に向けた木質バイオマスの総合利用技術の開発	a	a	a	A	A	1(2) D	
森林への温暖化影響評価の高度化と適応及び緩和技術の開発	a	s	a	A	A	1(3) E	
気候変動に対応した水資源保全と山地災害防止技術の開発	s	s	a	B	B	1(3) F	
森林の生物多様性の保全と評価・管理・利用技術の開発	a	a	s	A	A	1(3) G	
高速育種等による林木の新品種の開発	a	a	a	A	A	1(4) H	
森林遺伝資源を活用した生物機能の解明と利用技術の開発	s	a	s	B	B	1(4) I	
研究基盤となる情報の収集・整備・活用の推進	a	a	a	B	B	1(5)	
林木等の遺伝資源の収集、保存及び配布並びに種苗等の生産及び配布	a	a	a	B	B	1(6)	
被保険者の利便性の確保	-	-	-	-	B	2(1)	
加入促進	-	-	-	-	B	2(2)	
金融業務の特性を踏まえた財務の健全性及び適正な業務運営の確保のための内部ガバナンスの高度化	-	-	-	-	B	2(3)	
研究開発との連携	-	-	-	-	B	2(4)	
事業の重点化の実施	a	a	a	B	B	3(1) ア	
事業の実施手法の高度化のための措置	a	a	a	B	B	3(1) イ	
事業内容等の広報推進	a	a	a	B	B	3(1) ウ	
事業実施コストの構造改善	a	a	a	B	B	3(1) エ	
計画的で的確な事業の実施	a	a	s	B	B	3(2) ア	
事業の実施手法の高度化のための措置	a	a	a	-	-	3(2) イ	
事業実施コストの構造改善	a	a	a	-	-	3(2) ウ	
廃止・完了後の事業に係る債権債務管理、その他の債権債務及び緑資源幹線林道の保全管理業務の実施	a	a	a	B	B	3(3)	
行政機関、他の研究機関等との連携及び産学官連携・協力の強化	s	a	a	B	B	4	
成果の公表及び普及の促進	a	a	a	B	B	5	
専門分野を活かしたその他の社会貢献	a	a	a	B	B	6	
大項目別評定	A	A	A				

中長期目標（中長期計画）	年度評価					項目別 調査 No.	備考
	23	24	25	26	27		
	年度	年度	年度	年度	年度		
第2 業務運営の効率化に関する目標を達成するためとるべき措置							
効率化目標の設定等	a	a	a	B	B	1	
資源の効率的利用及び充実・高度化	a	a	a	B	B	2	
契約の点検・見直し	a	a	a	B	B	3	
内部統制の充実・強化	a	a	a	C	B	4	
効率的・効果的な評価の実施及び活用	a	a	a	B	B	5	
大項目別評定	A	A	A				
第3 財務内容の改善に関する事項							
業務の効率化を反映した予算の作成及び運営（研究開発）	a	a	a	B	B	1(1)	
自己収入の拡大に向けた取組	a	a	a	B	B	1(2)	
積立金の規模の妥当性の検証と必要な保険料率の見直し	-	-	-	-	B	2(1)	
保険料収入の増加に向けた取組	-	-	-	-	B	2(2)	
長期借入金等の着実な償還	a	a	a	B	B	3(1)	
業務の効率化を反映した予算の作成及び運営（水源林造成事業等）	a	a	a	B	B	3(2)	
大項目別評定	A	A	A				
第4 短期借入金の限度額							
研究開発	-	-	-	-	-	1	
森林保険	-	-	-	-	-	2	
水源林造成事業	a	a	a	B	B	3	
大項目別評定	A	A	A				
第5 不要財産の処分及び不要財産以外の重要な財産の譲渡に関する計画							
不要財産の処分及び不要財産以外の重要な財産の譲渡	a	-	a	B	B		
大項目別評定	A	-	A				
第6 剰余金の使途							
研究・育種勘定	-	-	-	-	-	1	
水源林勘定	-	-	-	-	-	2	
特定地域整備等勘定	-	-	-	-	-	3	
大項目別評定	-	-	-				
第7 その他農林水産省令で定める業務運営に関する事項							
施設及び設備に関する計画	a	a	a	B	B	1	
人事に関する計画	a	a	a	B	B	2	
環境対策・安全管理の推進	a	a	a	B	B	3	
情報の公開と保護	a	b	a	B	B	4	
積立金の処分	a	a	a	B	B	5	
大項目別評定	A	A	A				

様式2-2-3 国立研究開発法人 中長期目標期間評価（期間実績評価） 項目別評定総括表様式

中長期目標（中長期計画）	年度評価						中長期目標 期間評価	項目別 調書 No.	備考
	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	見込 評価	期間 実績 評価		
第1 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置									
地域に対応した多様な森林管理技術の開発	a	s	a	B	B	B	B	1(1) A	
国産材の安定供給のための新たな素材生産技術及び林業経営システムの開発	a	a	a	B	B	B	B	1(1) B	
木材の需要拡大に向けた利用促進に係る技術の開発	a	a	s	A	A	A	A	1(2) C	
新規需要の獲得に向けた木質バイオマスの総合利用技術の開発	a	a	a	A	A	A	A	1(2) D	
森林への温暖化影響評価の高度化と適応及び緩和技術の開発	a	s	a	A	A	A	A	1(3) E	
気候変動に対応した水資源保全と山地災害防止技術の開発	s	s	a	B	B	A	A	1(3) F	
森林の生物多様性の保全と評価・管理・利用技術の開発	a	a	s	A	A	A	A	1(3) G	
高速育種等による林木の新品種の開発	a	a	a	A	A	A	A	1(4) H	
森林遺伝資源を活用した生物機能の解明と利用技術の開発	s	a	s	B	B	A	A	1(4) I	
研究基盤となる情報の収集・整備・活用の推進	a	a	a	B	B	B	B	1(5)	
林木等の遺伝資源の収集、保存及び配布並びに種苗等の生産及び配布	a	a	a	B	B	B	B	1(6)	
被保険者の利便性の確保	-	-	-	-	B	B	B	2(1)	
加入促進	-	-	-	-	B	B	B	2(2)	
金融業務の特性を踏まえた財務の健全性及び適正な業務運営の確保のための内部ガバナンスの高度化	-	-	-	-	B	B	B	2(3)	
研究開発との連携	-	-	-	-	B	B	B	2(4)	
事業の重点化の実施	a	a	a	B	B	B	B	3(1) ア	
事業の実施手法の高度化のための措置	a	a	a	B	B	B	B	3(1) イ	
事業内容等の広報推進	a	a	a	B	B	B	B	3(1) ウ	
事業実施コストの構造改善	a	a	a	B	B	B	B	3(1) エ	
計画的で的確な事業の実施	a	a	s	B	B	B	B	3(2) ア	
事業の実施手法の高度化のための措置	a	a	a	-	-	B	B	3(2) イ	
事業実施コストの構造改善	a	a	a	-	-	B	B	3(2) ウ	
廃止・完了後の事業に係る債権債務管理、その他の債権債務及び緑資源幹線林道の保安全管理業務の実施	a	a	a	B	B	B	B	3(3)	
行政機関、他の研究機関等との連携及び産学官連携・協力の強化	s	a	a	B	B	B	A	4	
成果の公表及び普及の促進	a	a	a	B	B	B	B	5	
専門分野を活かしたその他の社会貢献	a	a	a	B	B	B	B	6	
大項目別評定	A	A	A						

中長期目標（中長期計画）	年度評価						中長期目標 期間評価	項目別 調書 No.	備考
	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	見込 評価	期間 実績 評価		
第2 業務運営の効率化に関する目標を達成するためとるべき措置									
効率化目標の設定等	a	a	a	B	B	B	B	1	
資源の効率的利用及び充実・高度化	a	a	a	B	B	B	B	2	
契約の点検・見直し	a	a	a	B	B	B	B	3	
内部統制の充実・強化	a	a	a	C	B	C	C	4	
効率的・効果的な評価の実施及び活用	a	a	a	B	B	B	B	5	
大項目別評定	A	A	A						
第3 財務内容の改善に関する事項									
業務の効率化を反映した予算の作成及び運営(研究開発)	a	a	a	B	B	B	B	1(1)	
自己収入の拡大に向けた取組	a	a	a	B	B	B	B	1(2)	
積立金の規模の妥当性の検証と必要な保険料率の見直し	-	-	-	-	B	B	B	2(1)	
保険料収入の増加に向けた取組	-	-	-	-	B	B	B	2(2)	
長期借入金等の着実な償還	a	a	a	B	B	B	B	3(1)	
業務の効率化を反映した予算の作成及び運営（水源林造成事業等）	a	a	a	B	B	B	B	3(2)	
大項目別評定	A	A	A						
第4 短期借入金の限度額									
研究開発	-	-	-	-	-	-	-	1	
森林保険	-	-	-	-	-	-	-	2	
水源林造成事業	a	a	a	B	B	B	B	3	
大項目別評定	A	A	A						
第5 不要財産の処分及び不要財産以外の重要な財産の譲渡に関する計画									
不要財産の処分及び不要財産以外の重要な財産の譲渡	a	-	a	B	B	B	B		
大項目別評定	A	-	A						
第6 剰余金の使途									
研究・育種勘定	-	-	-	-	-	-	-	1	
水源林勘定	-	-	-	-	-	-	-	2	
特定地域整備等勘定	-	-	-	-	-	-	-	3	
大項目別評定	-	-	-						
第7 その他農林水産省令で定める業務運営に関する事項									
施設及び設備に関する計画	a	a	a	B	B	B	B	1	
人事に関する計画	a	a	a	B	B	B	B	2	
環境対策・安全管理の推進	a	a	a	B	B	B	B	3	
情報の公開と保護	a	b	a	B	B	B	B	4	
積立金の処分	a	a	a	B	B	B	B	5	
大項目別評定	A	A	A						

中長期目標（中長期計画）	年度評価					項目別 調査 No.	備考
	23	24	25	26	27		
	年度	年度	年度	年度	年度		
第1 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置							
地域に対応した多様な森林管理技術の開発	a	s	a	B	B	1(1) A	
国産材の安定供給のための新たな素材生産技術及び林業経営システムの開発	a	a	a	B	B	1(1) B	
木材の需要拡大に向けた利用促進に係る技術の開発	a	a	s	A	A	1(2) C	
新規需要の獲得に向けた木質バイオマスの総合利用技術の開発	a	a	a	A	A	1(2) D	
森林への温暖化影響評価の高度化と適応及び緩和技術の開発	a	s	a	A	A	1(3) E	
気候変動に対応した水資源保全と山地災害防止技術の開発	s	s	a	B	B	1(3) F	
森林の生物多様性の保全と評価・管理・利用技術の開発	a	a	s	A	A	1(3) G	
高速育種等による林木の新品種の開発	a	a	a	A	A	1(4) H	
森林遺伝資源を活用した生物機能の解明と利用技術の開発	s	a	s	B	B	1(4) I	
研究基盤となる情報の収集・整備・活用の推進	a	a	a	B	B	1(5)	
林木等の遺伝資源の収集、保存及び配布並びに種苗等の生産及び配布	a	a	a	B	B	1(6)	
被保険者の利便性の確保	-	-	-	-	B	2(1)	
加入促進	-	-	-	-	B	2(2)	
金融業務の特性を踏まえた財務の健全性及び適正な業務運営の確保のための内部ガバナンスの高度化	-	-	-	-	B	2(3)	
研究開発との連携	-	-	-	-	B	2(4)	
事業の重点化の実施	a	a	a	B	B	3(1) ア	
事業の実施手法の高度化のための措置	a	a	a	B	B	3(1) イ	
事業内容等の広報推進	a	a	a	B	B	3(1) ウ	
事業実施コストの構造改善	a	a	a	B	B	3(1) エ	
計画的で的確な事業の実施	a	a	s	B	B	3(2) ア	
事業の実施手法の高度化のための措置	a	a	a	-	-	3(2) イ	
事業実施コストの構造改善	a	a	a	-	-	3(2) ウ	
廃止・完了後の事業に係る債権債務管理、その他の債権債務及び緑資源幹線林道の保全管理業務の実施	a	a	a	B	B	3(3)	
行政機関、他の研究機関等との連携及び産学官連携・協力の強化	s	a	a	B	B	4	
成果の公表及び普及の促進	a	a	a	B	B	5	
専門分野を活かしたその他の社会貢献	a	a	a	B	B	6	
大項目別評定	A	A	A				

中長期目標（中長期計画）	年度評価					項目別 調査 No.	備考
	23	24	25	26	27		
	年度	年度	年度	年度	年度		
第2 業務運営の効率化に関する目標を達成するためとるべき措置							
効率化目標の設定等	a	a	a	B	B	1	
資源の効率的利用及び充実・高度化	a	a	a	B	B	2	
契約の点検・見直し	a	a	a	B	B	3	
内部統制の充実・強化	a	a	a	C	B	4	
効率的・効果的な評価の実施及び活用	a	a	a	B	B	5	
大項目別評定	A	A	A				
第3 財務内容の改善に関する事項							
業務の効率化を反映した予算の作成及び運営（研究開発）	a	a	a	B	B	1(1)	
自己収入の拡大に向けた取組	a	a	a	B	B	1(2)	
積立金の規模の妥当性の検証と必要な保険料率の見直し	-	-	-	-	B	2(1)	
保険料収入の増加に向けた取組	-	-	-	-	B	2(2)	
長期借入金等の着実な償還	a	a	a	B	B	3(1)	
業務の効率化を反映した予算の作成及び運営（水源林造成事業等）	a	a	a	B	B	3(2)	
大項目別評定	A	A	A				
第4 短期借入金の限度額							
研究開発	-	-	-	-	-	1	
森林保険	-	-	-	-	-	2	
水源林造成事業	a	a	a	B	B	3	
大項目別評定	A	A	A				
第5 不要財産の処分及び不要財産以外の重要な財産の譲渡に関する計画							
不要財産の処分及び不要財産以外の重要な財産の譲渡	a	-	a	B	B		
大項目別評定	A	-	A				
第6 剰余金の使途							
研究・育種勘定	-	-	-	-	-	1	
水源林勘定	-	-	-	-	-	2	
特定地域整備等勘定	-	-	-	-	-	3	
大項目別評定	-	-	-				
第7 その他農林水産省令で定める業務運営に関する事項							
施設及び設備に関する計画	a	a	a	B	B	1	
人事に関する計画	a	a	a	B	B	2	
環境対策・安全管理の推進	a	a	a	B	B	3	
情報の公開と保護	a	b	a	B	B	4	
積立金の処分	a	a	a	B	B	5	
大項目別評定	A	A	A				

様式2-2-3 国立研究開発法人 中長期目標期間評価（期間実績評価） 項目別評定総括表様式

中長期目標（中長期計画）	年度評価						中長期目標 期間評価	項目別 調書 No.	備考
	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	見込 評価	期間 実績 評価		
第1 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置									
地域に対応した多様な森林管理技術の開発	a	s	a	B	B	B	B	1(1) A	
国産材の安定供給のための新たな素材生産技術及び林業経営システムの開発	a	a	a	B	B	B	B	1(1) B	
木材の需要拡大に向けた利用促進に係る技術の開発	a	a	s	A	A	A	A	1(2) C	
新規需要の獲得に向けた木質バイオマスの総合利用技術の開発	a	a	a	A	A	A	A	1(2) D	
森林への温暖化影響評価の高度化と適応及び緩和技術の開発	a	s	a	A	A	A	A	1(3) E	
気候変動に対応した水資源保全と山地災害防止技術の開発	s	s	a	B	B	A	A	1(3) F	
森林の生物多様性の保全と評価・管理・利用技術の開発	a	a	s	A	A	A	A	1(3) G	
高速育種等による林木の新品種の開発	a	a	a	A	A	A	A	1(4) H	
森林遺伝資源を活用した生物機能の解明と利用技術の開発	s	a	s	B	B	A	A	1(4) I	
研究基盤となる情報の収集・整備・活用の推進	a	a	a	B	B	B	B	1(5)	
林木等の遺伝資源の収集、保存及び配布並びに種苗等の生産及び配布	a	a	a	B	B	B	B	1(6)	
被保険者の利便性の確保	-	-	-	-	B	B	B	2(1)	
加入促進	-	-	-	-	B	B	B	2(2)	
金融業務の特性を踏まえた財務の健全性及び適正な業務運営の確保のための内部ガバナンスの高度化	-	-	-	-	B	B	B	2(3)	
研究開発との連携	-	-	-	-	B	B	B	2(4)	
事業の重点化の実施	a	a	a	B	B	B	B	3(1) ア	
事業の実施手法の高度化のための措置	a	a	a	B	B	B	B	3(1) イ	
事業内容等の広報推進	a	a	a	B	B	B	B	3(1) ウ	
事業実施コストの構造改善	a	a	a	B	B	B	B	3(1) エ	
計画的で的確な事業の実施	a	a	s	B	B	B	B	3(2) ア	
事業の実施手法の高度化のための措置	a	a	a	-	-	B	B	3(2) イ	
事業実施コストの構造改善	a	a	a	-	-	B	B	3(2) ウ	
廃止・完了後の事業に係る債権債務管理、その他の債権債務及び緑資源幹線林道の保安全管理業務の実施	a	a	a	B	B	B	B	3(3)	
行政機関、他の研究機関等との連携及び産学官連携・協力の強化	s	a	a	B	B	B	A	4	
成果の公表及び普及の促進	a	a	a	B	B	B	B	5	
専門分野を活かしたその他の社会貢献	a	a	a	B	B	B	B	6	
大項目別評定	A	A	A						

中長期目標（中長期計画）	年度評価						中長期目標 期間評価	項目別 調書 No.	備考
	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	見込 評価	期間 実績 評価		
第2 業務運営の効率化に関する目標を達成するためとるべき措置									
効率化目標の設定等	a	a	a	B	B	B	B	1	
資源の効率的利用及び充実・高度化	a	a	a	B	B	B	B	2	
契約の点検・見直し	a	a	a	B	B	B	B	3	
内部統制の充実・強化	a	a	a	C	B	C	C	4	
効率的・効果的な評価の実施及び活用	a	a	a	B	B	B	B	5	
大項目別評定	A	A	A						
第3 財務内容の改善に関する事項									
業務の効率化を反映した予算の作成及び運営(研究開発)	a	a	a	B	B	B	B	1(1)	
自己収入の拡大に向けた取組	a	a	a	B	B	B	B	1(2)	
積立金の規模の妥当性の検証と必要な保険料率の見直し	-	-	-	-	B	B	B	2(1)	
保険料収入の増加に向けた取組	-	-	-	-	B	B	B	2(2)	
長期借入金等の着実な償還	a	a	a	B	B	B	B	3(1)	
業務の効率化を反映した予算の作成及び運営（水源林造成事業等）	a	a	a	B	B	B	B	3(2)	
大項目別評定	A	A	A						
第4 短期借入金の限度額									
研究開発	-	-	-	-	-	-	-	1	
森林保険	-	-	-	-	-	-	-	2	
水源林造成事業	a	a	a	B	B	B	B	3	
大項目別評定	A	A	A						
第5 不要財産の処分及び不要財産以外の重要な財産の譲渡に関する計画									
不要財産の処分及び不要財産以外の重要な財産の譲渡	a	-	a	B	B	B	B		
大項目別評定	A	-	A						
第6 剰余金の使途									
研究・育種勘定	-	-	-	-	-	-	-	1	
水源林勘定	-	-	-	-	-	-	-	2	
特定地域整備等勘定	-	-	-	-	-	-	-	3	
大項目別評定	-	-	-						
第7 その他農林水産省令で定める業務運営に関する事項									
施設及び設備に関する計画	a	a	a	B	B	B	B	1	
人事に関する計画	a	a	a	B	B	B	B	2	
環境対策・安全管理の推進	a	a	a	B	B	B	B	3	
情報の公開と保護	a	b	a	B	B	B	B	4	
積立金の処分	a	a	a	B	B	B	B	5	
大項目別評定	A	A	A						

様式2-2-3 国立研究開発法人 中長期目標期間評価（期間実績評価） 項目別評定総括表様式

中長期目標（中長期計画）	年度評価						中長期目標 期間評価	項目別 調書 No.	備考
	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	見込 評価	期間 実績 評価		
第1 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置									
地域に対応した多様な森林管理技術の開発	a	s	a	B	B	B	B	1(1) A	
国産材の安定供給のための新たな素材生産技術及び林業経営システムの開発	a	a	a	B	B	B	B	1(1) B	
木材の需要拡大に向けた利用促進に係る技術の開発	a	a	s	A	A	A	A	1(2) C	
新規需要の獲得に向けた木質バイオマスの総合利用技術の開発	a	a	a	A	A	A	A	1(2) D	
森林への温暖化影響評価の高度化と適応及び緩和技術の開発	a	s	a	A	A	A	A	1(3) E	
気候変動に対応した水資源保全と山地災害防止技術の開発	s	s	a	B	B	A	A	1(3) F	
森林の生物多様性の保全と評価・管理・利用技術の開発	a	a	s	A	A	A	A	1(3) G	
高速育種等による林木の新品種の開発	a	a	a	A	A	A	A	1(4) H	
森林遺伝資源を活用した生物機能の解明と利用技術の開発	s	a	s	B	B	A	A	1(4) I	
研究基盤となる情報の収集・整備・活用の推進	a	a	a	B	B	B	B	1(5)	
林木等の遺伝資源の収集、保存及び配布並びに種苗等の生産及び配布	a	a	a	B	B	B	B	1(6)	
被保険者の利便性の確保	-	-	-	-	B	B	B	2(1)	
加入促進	-	-	-	-	B	B	B	2(2)	
金融業務の特性を踏まえた財務の健全性及び適正な業務運営の確保のための内部ガバナンスの高度化	-	-	-	-	B	B	B	2(3)	
研究開発との連携	-	-	-	-	B	B	B	2(4)	
事業の重点化の実施	a	a	a	B	B	B	B	3(1) ア	
事業の実施手法の高度化のための措置	a	a	a	B	B	B	B	3(1) イ	
事業内容等の広報推進	a	a	a	B	B	B	B	3(1) ウ	
事業実施コストの構造改善	a	a	a	B	B	B	B	3(1) エ	
計画的で的確な事業の実施	a	a	s	B	B	B	B	3(2) ア	
事業の実施手法の高度化のための措置	a	a	a	-	-	B	B	3(2) イ	
事業実施コストの構造改善	a	a	a	-	-	B	B	3(2) ウ	
廃止・完了後の事業に係る債権債務管理、その他の債権債務及び緑資源幹線林道の保安全管理業務の実施	a	a	a	B	B	B	B	3(3)	
行政機関、他の研究機関等との連携及び産学官連携・協力の強化	s	a	a	B	B	B	A	4	
成果の公表及び普及の促進	a	a	a	B	B	B	B	5	
専門分野を活かしたその他の社会貢献	a	a	a	B	B	B	B	6	
大項目別評定	A	A	A						

中長期目標（中長期計画）	年度評価						中長期目標 期間評価	項目別 調書 No.	備考
	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	見込 評価	期間 実績 評価		
第2 業務運営の効率化に関する目標を達成するためとるべき措置									
効率化目標の設定等	a	a	a	B	B	B	B	1	
資源の効率的利用及び充実・高度化	a	a	a	B	B	B	B	2	
契約の点検・見直し	a	a	a	B	B	B	B	3	
内部統制の充実・強化	a	a	a	C	B	C	C	4	
効率的・効果的な評価の実施及び活用	a	a	a	B	B	B	B	5	
大項目別評定	A	A	A						
第3 財務内容の改善に関する事項									
業務の効率化を反映した予算の作成及び運営(研究開発)	a	a	a	B	B	B	B	1(1)	
自己収入の拡大に向けた取組	a	a	a	B	B	B	B	1(2)	
積立金の規模の妥当性の検証と必要な保険料率の見直し	-	-	-	-	B	B	B	2(1)	
保険料収入の増加に向けた取組	-	-	-	-	B	B	B	2(2)	
長期借入金等の着実な償還	a	a	a	B	B	B	B	3(1)	
業務の効率化を反映した予算の作成及び運営（水源林造成事業等）	a	a	a	B	B	B	B	3(2)	
大項目別評定	A	A	A						
第4 短期借入金の限度額									
研究開発	-	-	-	-	-	-	-	1	
森林保険	-	-	-	-	-	-	-	2	
水源林造成事業	a	a	a	B	B	B	B	3	
大項目別評定	A	A	A						
第5 不要財産の処分及び不要財産以外の重要な財産の譲渡に関する計画									
不要財産の処分及び不要財産以外の重要な財産の譲渡	a	-	a	B	B	B	B		
大項目別評定	A	-	A						
第6 剰余金の使途									
研究・育種勘定	-	-	-	-	-	-	-	1	
水源林勘定	-	-	-	-	-	-	-	2	
特定地域整備等勘定	-	-	-	-	-	-	-	3	
大項目別評定	-	-	-						
第7 その他農林水産省令で定める業務運営に関する事項									
施設及び設備に関する計画	a	a	a	B	B	B	B	1	
人事に関する計画	a	a	a	B	B	B	B	2	
環境対策・安全管理の推進	a	a	a	B	B	B	B	3	
情報の公開と保護	a	b	a	B	B	B	B	4	
積立金の処分	a	a	a	B	B	B	B	5	
大項目別評定	A	A	A						

中長期目標（中長期計画）	年度評価					項目別 調査 No.	備考
	23	24	25	26	27		
	年度	年度	年度	年度	年度		
第1 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置							
地域に対応した多様な森林管理技術の開発	a	s	a	B	B	1(1) A	
国産材の安定供給のための新たな素材生産技術及び林業経営システムの開発	a	a	a	B	B	1(1) B	
木材の需要拡大に向けた利用促進に係る技術の開発	a	a	s	A	A	1(2) C	
新規需要の獲得に向けた木質バイオマスの総合利用技術の開発	a	a	a	A	A	1(2) D	
森林への温暖化影響評価の高度化と適応及び緩和技術の開発	a	s	a	A	A	1(3) E	
気候変動に対応した水資源保全と山地災害防止技術の開発	s	s	a	B	B	1(3) F	
森林の生物多様性の保全と評価・管理・利用技術の開発	a	a	s	A	A	1(3) G	
高速育種等による林木の新品種の開発	a	a	a	A	A	1(4) H	
森林遺伝資源を活用した生物機能の解明と利用技術の開発	s	a	s	B	B	1(4) I	
研究基盤となる情報の収集・整備・活用の推進	a	a	a	B	B	1(5)	
林木等の遺伝資源の収集、保存及び配布並びに種苗等の生産及び配布	a	a	a	B	B	1(6)	
被保険者の利便性の確保	-	-	-	-	B	2(1)	
加入促進	-	-	-	-	B	2(2)	
金融業務の特性を踏まえた財務の健全性及び適正な業務運営の確保のための内部ガバナンスの高度化	-	-	-	-	B	2(3)	
研究開発との連携	-	-	-	-	B	2(4)	
事業の重点化の実施	a	a	a	B	B	3(1) ア	
事業の実施手法の高度化のための措置	a	a	a	B	B	3(1) イ	
事業内容等の広報推進	a	a	a	B	B	3(1) ウ	
事業実施コストの構造改善	a	a	a	B	B	3(1) エ	
計画的で的確な事業の実施	a	a	s	B	B	3(2) ア	
事業の実施手法の高度化のための措置	a	a	a	-	-	3(2) イ	
事業実施コストの構造改善	a	a	a	-	-	3(2) ウ	
廃止・完了後の事業に係る債権債務管理、その他の債権債務及び緑資源幹線林道の保全管理業務の実施	a	a	a	B	B	3(3)	
行政機関、他の研究機関等との連携及び産学官連携・協力の強化	s	a	a	B	B	4	
成果の公表及び普及の促進	a	a	a	B	B	5	
専門分野を活かしたその他の社会貢献	a	a	a	B	B	6	
大項目別評定	A	A	A				

中長期目標（中長期計画）	年度評価					項目別 調査 No.	備考
	23	24	25	26	27		
	年度	年度	年度	年度	年度		
第2 業務運営の効率化に関する目標を達成するためとるべき措置							
効率化目標の設定等	a	a	a	B	B	1	
資源の効率的利用及び充実・高度化	a	a	a	B	B	2	
契約の点検・見直し	a	a	a	B	B	3	
内部統制の充実・強化	a	a	a	C	B	4	
効率的・効果的な評価の実施及び活用	a	a	a	B	B	5	
大項目別評定	A	A	A				
第3 財務内容の改善に関する事項							
業務の効率化を反映した予算の作成及び運営（研究開発）	a	a	a	B	B	1(1)	
自己収入の拡大に向けた取組	a	a	a	B	B	1(2)	
積立金の規模の妥当性の検証と必要な保険料率の見直し	-	-	-	-	B	2(1)	
保険料収入の増加に向けた取組	-	-	-	-	B	2(2)	
長期借入金等の着実な償還	a	a	a	B	B	3(1)	
業務の効率化を反映した予算の作成及び運営（水源林造成事業等）	a	a	a	B	B	3(2)	
大項目別評定	A	A	A				
第4 短期借入金の限度額							
研究開発	-	-	-	-	-	1	
森林保険	-	-	-	-	-	2	
水源林造成事業	a	a	a	B	B	3	
大項目別評定	A	A	A				
第5 不要財産の処分及び不要財産以外の重要な財産の譲渡に関する計画							
不要財産の処分及び不要財産以外の重要な財産の譲渡	a	-	a	B	B		
大項目別評定	A	-	A				
第6 剰余金の使途							
研究・育種勘定	-	-	-	-	-	1	
水源林勘定	-	-	-	-	-	2	
特定地域整備等勘定	-	-	-	-	-	3	
大項目別評定	-	-	-				
第7 その他農林水産省令で定める業務運営に関する事項							
施設及び設備に関する計画	a	a	a	B	B	1	
人事に関する計画	a	a	a	B	B	2	
環境対策・安全管理の推進	a	a	a	B	B	3	
情報の公開と保護	a	b	a	B	B	4	
積立金の処分	a	a	a	B	B	5	
大項目別評定	A	A	A				

様式2-2-3 国立研究開発法人 中長期目標期間評価（期間実績評価） 項目別評定総括表様式

中長期目標（中長期計画）	年度評価						中長期目標 期間評価	項目別 調書 No.	備考
	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	見込 評価	期間 実績 評価		
第1 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置									
地域に対応した多様な森林管理技術の開発	a	s	a	B	B	B	B	1(1) A	
国産材の安定供給のための新たな素材生産技術及び林業経営システムの開発	a	a	a	B	B	B	B	1(1) B	
木材の需要拡大に向けた利用促進に係る技術の開発	a	a	s	A	A	A	A	1(2) C	
新規需要の獲得に向けた木質バイオマスの総合利用技術の開発	a	a	a	A	A	A	A	1(2) D	
森林への温暖化影響評価の高度化と適応及び緩和技術の開発	a	s	a	A	A	A	A	1(3) E	
気候変動に対応した水資源保全と山地災害防止技術の開発	s	s	a	B	B	A	A	1(3) F	
森林の生物多様性の保全と評価・管理・利用技術の開発	a	a	s	A	A	A	A	1(3) G	
高速育種等による林木の新品種の開発	a	a	a	A	A	A	A	1(4) H	
森林遺伝資源を活用した生物機能の解明と利用技術の開発	s	a	s	B	B	A	A	1(4) I	
研究基盤となる情報の収集・整備・活用の推進	a	a	a	B	B	B	B	1(5)	
林木等の遺伝資源の収集、保存及び配布並びに種苗等の生産及び配布	a	a	a	B	B	B	B	1(6)	
被保険者の利便性の確保	-	-	-	-	B	B	B	2(1)	
加入促進	-	-	-	-	B	B	B	2(2)	
金融業務の特性を踏まえた財務の健全性及び適正な業務運営の確保のための内部ガバナンスの高度化	-	-	-	-	B	B	B	2(3)	
研究開発との連携	-	-	-	-	B	B	B	2(4)	
事業の重点化の実施	a	a	a	B	B	B	B	3(1) ア	
事業の実施手法の高度化のための措置	a	a	a	B	B	B	B	3(1) イ	
事業内容等の広報推進	a	a	a	B	B	B	B	3(1) ウ	
事業実施コストの構造改善	a	a	a	B	B	B	B	3(1) エ	
計画的で的確な事業の実施	a	a	s	B	B	B	B	3(2) ア	
事業の実施手法の高度化のための措置	a	a	a	-	-	B	B	3(2) イ	
事業実施コストの構造改善	a	a	a	-	-	B	B	3(2) ウ	
廃止・完了後の事業に係る債権債務管理、その他の債権債務及び緑資源幹線林道の保安全管理業務の実施	a	a	a	B	B	B	B	3(3)	
行政機関、他の研究機関等との連携及び産学官連携・協力の強化	s	a	a	B	B	B	A	4	
成果の公表及び普及の促進	a	a	a	B	B	B	B	5	
専門分野を活かしたその他の社会貢献	a	a	a	B	B	B	B	6	
大項目別評定	A	A	A						

中長期目標（中長期計画）	年度評価						中長期目標 期間評価	項目別 調書 No.	備考
	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	見込 評価	期間 実績 評価		
第2 業務運営の効率化に関する目標を達成するためとるべき措置									
効率化目標の設定等	a	a	a	B	B	B	B	1	
資源の効率的利用及び充実・高度化	a	a	a	B	B	B	B	2	
契約の点検・見直し	a	a	a	B	B	B	B	3	
内部統制の充実・強化	a	a	a	C	B	C	C	4	
効率的・効果的な評価の実施及び活用	a	a	a	B	B	B	B	5	
大項目別評定	A	A	A						
第3 財務内容の改善に関する事項									
業務の効率化を反映した予算の作成及び運営(研究開発)	a	a	a	B	B	B	B	1(1)	
自己収入の拡大に向けた取組	a	a	a	B	B	B	B	1(2)	
積立金の規模の妥当性の検証と必要な保険料率の見直し	-	-	-	-	B	B	B	2(1)	
保険料収入の増加に向けた取組	-	-	-	-	B	B	B	2(2)	
長期借入金等の着実な償還	a	a	a	B	B	B	B	3(1)	
業務の効率化を反映した予算の作成及び運営（水源林造成事業等）	a	a	a	B	B	B	B	3(2)	
大項目別評定	A	A	A						
第4 短期借入金の限度額									
研究開発	-	-	-	-	-	-	-	1	
森林保険	-	-	-	-	-	-	-	2	
水源林造成事業	a	a	a	B	B	B	B	3	
大項目別評定	A	A	A						
第5 不要財産の処分及び不要財産以外の重要な財産の譲渡に関する計画									
不要財産の処分及び不要財産以外の重要な財産の譲渡	a	-	a	B	B	B	B		
大項目別評定	A	-	A						
第6 剰余金の使途									
研究・育種勘定	-	-	-	-	-	-	-	1	
水源林勘定	-	-	-	-	-	-	-	2	
特定地域整備等勘定	-	-	-	-	-	-	-	3	
大項目別評定	-	-	-						
第7 その他農林水産省令で定める業務運営に関する事項									
施設及び設備に関する計画	a	a	a	B	B	B	B	1	
人事に関する計画	a	a	a	B	B	B	B	2	
環境対策・安全管理の推進	a	a	a	B	B	B	B	3	
情報の公開と保護	a	b	a	B	B	B	B	4	
積立金の処分	a	a	a	B	B	B	B	5	
大項目別評定	A	A	A						

様式2-2-3 国立研究開発法人 中長期目標期間評価（期間実績評価） 項目別評定総括表様式

中長期目標（中長期計画）	年度評価						中長期目標 期間評価	項目別 調書 No.	備考
	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	見込 評価	期間 実績 評価		
第1 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置									
地域に対応した多様な森林管理技術の開発	a	s	a	B	B	B	B	1(1) A	
国産材の安定供給のための新たな素材生産技術及び林業経営システムの開発	a	a	a	B	B	B	B	1(1) B	
木材の需要拡大に向けた利用促進に係る技術の開発	a	a	s	A	A	A	A	1(2) C	
新規需要の獲得に向けた木質バイオマスの総合利用技術の開発	a	a	a	A	A	A	A	1(2) D	
森林への温暖化影響評価の高度化と適応及び緩和技術の開発	a	s	a	A	A	A	A	1(3) E	
気候変動に対応した水資源保全と山地災害防止技術の開発	s	s	a	B	B	A	A	1(3) F	
森林の生物多様性の保全と評価・管理・利用技術の開発	a	a	s	A	A	A	A	1(3) G	
高速育種等による林木の新品種の開発	a	a	a	A	A	A	A	1(4) H	
森林遺伝資源を活用した生物機能の解明と利用技術の開発	s	a	s	B	B	A	A	1(4) I	
研究基盤となる情報の収集・整備・活用の推進	a	a	a	B	B	B	B	1(5)	
林木等の遺伝資源の収集、保存及び配布並びに種苗等の生産及び配布	a	a	a	B	B	B	B	1(6)	
被保険者の利便性の確保	-	-	-	-	B	B	B	2(1)	
加入促進	-	-	-	-	B	B	B	2(2)	
金融業務の特性を踏まえた財務の健全性及び適正な業務運営の確保のための内部ガバナンスの高度化	-	-	-	-	B	B	B	2(3)	
研究開発との連携	-	-	-	-	B	B	B	2(4)	
事業の重点化の実施	a	a	a	B	B	B	B	3(1) ア	
事業の実施手法の高度化のための措置	a	a	a	B	B	B	B	3(1) イ	
事業内容等の広報推進	a	a	a	B	B	B	B	3(1) ウ	
事業実施コストの構造改善	a	a	a	B	B	B	B	3(1) エ	
計画的で的確な事業の実施	a	a	s	B	B	B	B	3(2) ア	
事業の実施手法の高度化のための措置	a	a	a	-	-	B	B	3(2) イ	
事業実施コストの構造改善	a	a	a	-	-	B	B	3(2) ウ	
廃止・完了後の事業に係る債権債務管理、その他の債権債務及び緑資源幹線林道の保安全管理業務の実施	a	a	a	B	B	B	B	3(3)	
行政機関、他の研究機関等との連携及び産学官連携・協力の強化	s	a	a	B	B	B	A	4	
成果の公表及び普及の促進	a	a	a	B	B	B	B	5	
専門分野を活かしたその他の社会貢献	a	a	a	B	B	B	B	6	
大項目別評定	A	A	A						

中長期目標（中長期計画）	年度評価						中長期目標 期間評価	項目別 調書 No.	備考
	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	見込 評価	期間 実績 評価		
第2 業務運営の効率化に関する目標を達成するためとるべき措置									
効率化目標の設定等	a	a	a	B	B	B	B	1	
資源の効率的利用及び充実・高度化	a	a	a	B	B	B	B	2	
契約の点検・見直し	a	a	a	B	B	B	B	3	
内部統制の充実・強化	a	a	a	C	B	C	C	4	
効率的・効果的な評価の実施及び活用	a	a	a	B	B	B	B	5	
大項目別評定	A	A	A						
第3 財務内容の改善に関する事項									
業務の効率化を反映した予算の作成及び運営(研究開発)	a	a	a	B	B	B	B	1(1)	
自己収入の拡大に向けた取組	a	a	a	B	B	B	B	1(2)	
積立金の規模の妥当性の検証と必要な保険料率の見直し	-	-	-	-	B	B	B	2(1)	
保険料収入の増加に向けた取組	-	-	-	-	B	B	B	2(2)	
長期借入金等の着実な償還	a	a	a	B	B	B	B	3(1)	
業務の効率化を反映した予算の作成及び運営（水源林造成事業等）	a	a	a	B	B	B	B	3(2)	
大項目別評定	A	A	A						
第4 短期借入金の限度額									
研究開発	-	-	-	-	-	-	-	1	
森林保険	-	-	-	-	-	-	-	2	
水源林造成事業	a	a	a	B	B	B	B	3	
大項目別評定	A	A	A						
第5 不要財産の処分及び不要財産以外の重要な財産の譲渡に関する計画									
不要財産の処分及び不要財産以外の重要な財産の譲渡	a	-	a	B	B	B	B		
大項目別評定	A	-	A						
第6 剰余金の使途									
研究・育種勘定	-	-	-	-	-	-	-	1	
水源林勘定	-	-	-	-	-	-	-	2	
特定地域整備等勘定	-	-	-	-	-	-	-	3	
大項目別評定	-	-	-						
第7 その他農林水産省令で定める業務運営に関する事項									
施設及び設備に関する計画	a	a	a	B	B	B	B	1	
人事に関する計画	a	a	a	B	B	B	B	2	
環境対策・安全管理の推進	a	a	a	B	B	B	B	3	
情報の公開と保護	a	b	a	B	B	B	B	4	
積立金の処分	a	a	a	B	B	B	B	5	
大項目別評定	A	A	A						

様式2-2-3 国立研究開発法人 中長期目標期間評価（期間実績評価） 項目別評定総括表様式

中長期目標（中長期計画）	年度評価						中長期目標 期間評価	項目別 調書 No.	備考
	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	見込 評価	期間 実績 評価		
第1 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置									
地域に対応した多様な森林管理技術の開発	a	s	a	B	B	B	B	1(1) A	
国産材の安定供給のための新たな素材生産技術及び林業経営システムの開発	a	a	a	B	B	B	B	1(1) B	
木材の需要拡大に向けた利用促進に係る技術の開発	a	a	s	A	A	A	A	1(2) C	
新規需要の獲得に向けた木質バイオマスの総合利用技術の開発	a	a	a	A	A	A	A	1(2) D	
森林への温暖化影響評価の高度化と適応及び緩和技術の開発	a	s	a	A	A	A	A	1(3) E	
気候変動に対応した水資源保全と山地災害防止技術の開発	s	s	a	B	B	A	A	1(3) F	
森林の生物多様性の保全と評価・管理・利用技術の開発	a	a	s	A	A	A	A	1(3) G	
高速育種等による林木の新品種の開発	a	a	a	A	A	A	A	1(4) H	
森林遺伝資源を活用した生物機能の解明と利用技術の開発	s	a	s	B	B	A	A	1(4) I	
研究基盤となる情報の収集・整備・活用の推進	a	a	a	B	B	B	B	1(5)	
林木等の遺伝資源の収集、保存及び配布並びに種苗等の生産及び配布	a	a	a	B	B	B	B	1(6)	
被保険者の利便性の確保	-	-	-	-	B	B	B	2(1)	
加入促進	-	-	-	-	B	B	B	2(2)	
金融業務の特性を踏まえた財務の健全性及び適正な業務運営の確保のための内部ガバナンスの高度化	-	-	-	-	B	B	B	2(3)	
研究開発との連携	-	-	-	-	B	B	B	2(4)	
事業の重点化の実施	a	a	a	B	B	B	B	3(1) ア	
事業の実施手法の高度化のための措置	a	a	a	B	B	B	B	3(1) イ	
事業内容等の広報推進	a	a	a	B	B	B	B	3(1) ウ	
事業実施コストの構造改善	a	a	a	B	B	B	B	3(1) エ	
計画的で的確な事業の実施	a	a	s	B	B	B	B	3(2) ア	
事業の実施手法の高度化のための措置	a	a	a	-	-	B	B	3(2) イ	
事業実施コストの構造改善	a	a	a	-	-	B	B	3(2) ウ	
廃止・完了後の事業に係る債権債務管理、その他の債権債務及び緑資源幹線林道の保安全管理業務の実施	a	a	a	B	B	B	B	3(3)	
行政機関、他の研究機関等との連携及び産学官連携・協力の強化	s	a	a	B	B	B	A	4	
成果の公表及び普及の促進	a	a	a	B	B	B	B	5	
専門分野を活かしたその他の社会貢献	a	a	a	B	B	B	B	6	
大項目別評定	A	A	A						

中長期目標（中長期計画）	年度評価						中長期目標 期間評価	項目別 調書 No.	備考
	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	見込 評価	期間 実績 評価		
第2 業務運営の効率化に関する目標を達成するためとるべき措置									
効率化目標の設定等	a	a	a	B	B	B	B	1	
資源の効率的利用及び充実・高度化	a	a	a	B	B	B	B	2	
契約の点検・見直し	a	a	a	B	B	B	B	3	
内部統制の充実・強化	a	a	a	C	B	C	C	4	
効率的・効果的な評価の実施及び活用	a	a	a	B	B	B	B	5	
大項目別評定	A	A	A						
第3 財務内容の改善に関する事項									
業務の効率化を反映した予算の作成及び運営(研究開発)	a	a	a	B	B	B	B	1(1)	
自己収入の拡大に向けた取組	a	a	a	B	B	B	B	1(2)	
積立金の規模の妥当性の検証と必要な保険料率の見直し	-	-	-	-	B	B	B	2(1)	
保険料収入の増加に向けた取組	-	-	-	-	B	B	B	2(2)	
長期借入金等の着実な償還	a	a	a	B	B	B	B	3(1)	
業務の効率化を反映した予算の作成及び運営（水源林造成事業等）	a	a	a	B	B	B	B	3(2)	
大項目別評定	A	A	A						
第4 短期借入金の限度額									
研究開発	-	-	-	-	-	-	-	1	
森林保険	-	-	-	-	-	-	-	2	
水源林造成事業	a	a	a	B	B	B	B	3	
大項目別評定	A	A	A						
第5 不要財産の処分及び不要財産以外の重要な財産の譲渡に関する計画									
不要財産の処分及び不要財産以外の重要な財産の譲渡	a	-	a	B	B	B	B		
大項目別評定	A	-	A						
第6 剰余金の使途									
研究・育種勘定	-	-	-	-	-	-	-	1	
水源林勘定	-	-	-	-	-	-	-	2	
特定地域整備等勘定	-	-	-	-	-	-	-	3	
大項目別評定	-	-	-						
第7 その他農林水産省令で定める業務運営に関する事項									
施設及び設備に関する計画	a	a	a	B	B	B	B	1	
人事に関する計画	a	a	a	B	B	B	B	2	
環境対策・安全管理の推進	a	a	a	B	B	B	B	3	
情報の公開と保護	a	b	a	B	B	B	B	4	
積立金の処分	a	a	a	B	B	B	B	5	
大項目別評定	A	A	A						

様式2-2-3 国立研究開発法人 中長期目標期間評価（期間実績評価） 項目別評定総括表様式

中長期目標（中長期計画）	年度評価						中長期目標 期間評価	項目別 調書 No.	備考
	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	見込 評価	期間 実績 評価		
第1 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置									
地域に対応した多様な森林管理技術の開発	a	s	a	B	B	B	B	1(1) A	
国産材の安定供給のための新たな素材生産技術及び林業経営システムの開発	a	a	a	B	B	B	B	1(1) B	
木材の需要拡大に向けた利用促進に係る技術の開発	a	a	s	A	A	A	A	1(2) C	
新規需要の獲得に向けた木質バイオマスの総合利用技術の開発	a	a	a	A	A	A	A	1(2) D	
森林への温暖化影響評価の高度化と適応及び緩和技術の開発	a	s	a	A	A	A	A	1(3) E	
気候変動に対応した水資源保全と山地災害防止技術の開発	s	s	a	B	B	A	A	1(3) F	
森林の生物多様性の保全と評価・管理・利用技術の開発	a	a	s	A	A	A	A	1(3) G	
高速育種等による林木の新品種の開発	a	a	a	A	A	A	A	1(4) H	
森林遺伝資源を活用した生物機能の解明と利用技術の開発	s	a	s	B	B	A	A	1(4) I	
研究基盤となる情報の収集・整備・活用の推進	a	a	a	B	B	B	B	1(5)	
林木等の遺伝資源の収集、保存及び配布並びに種苗等の生産及び配布	a	a	a	B	B	B	B	1(6)	
被保険者の利便性の確保	-	-	-	-	B	B	B	2(1)	
加入促進	-	-	-	-	B	B	B	2(2)	
金融業務の特性を踏まえた財務の健全性及び適正な業務運営の確保のための内部ガバナンスの高度化	-	-	-	-	B	B	B	2(3)	
研究開発との連携	-	-	-	-	B	B	B	2(4)	
事業の重点化の実施	a	a	a	B	B	B	B	3(1) ア	
事業の実施手法の高度化のための措置	a	a	a	B	B	B	B	3(1) イ	
事業内容等の広報推進	a	a	a	B	B	B	B	3(1) ウ	
事業実施コストの構造改善	a	a	a	B	B	B	B	3(1) エ	
計画的で的確な事業の実施	a	a	s	B	B	B	B	3(2) ア	
事業の実施手法の高度化のための措置	a	a	a	-	-	B	B	3(2) イ	
事業実施コストの構造改善	a	a	a	-	-	B	B	3(2) ウ	
廃止・完了後の事業に係る債権債務管理、その他の債権債務及び緑資源幹線林道の保安全管理業務の実施	a	a	a	B	B	B	B	3(3)	
行政機関、他の研究機関等との連携及び産学官連携・協力の強化	s	a	a	B	B	B	A	4	
成果の公表及び普及の促進	a	a	a	B	B	B	B	5	
専門分野を活かしたその他の社会貢献	a	a	a	B	B	B	B	6	
大項目別評定	A	A	A						

中長期目標（中長期計画）	年度評価						中長期目標 期間評価	項目別 調書 No.	備考
	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	見込 評価	期間 実績 評価		
第2 業務運営の効率化に関する目標を達成するためとるべき措置									
効率化目標の設定等	a	a	a	B	B	B	B	1	
資源の効率的利用及び充実・高度化	a	a	a	B	B	B	B	2	
契約の点検・見直し	a	a	a	B	B	B	B	3	
内部統制の充実・強化	a	a	a	C	B	C	C	4	
効率的・効果的な評価の実施及び活用	a	a	a	B	B	B	B	5	
大項目別評定	A	A	A						
第3 財務内容の改善に関する事項									
業務の効率化を反映した予算の作成及び運営(研究開発)	a	a	a	B	B	B	B	1(1)	
自己収入の拡大に向けた取組	a	a	a	B	B	B	B	1(2)	
積立金の規模の妥当性の検証と必要な保険料率の見直し	-	-	-	-	B	B	B	2(1)	
保険料収入の増加に向けた取組	-	-	-	-	B	B	B	2(2)	
長期借入金等の着実な償還	a	a	a	B	B	B	B	3(1)	
業務の効率化を反映した予算の作成及び運営（水源林造成事業等）	a	a	a	B	B	B	B	3(2)	
大項目別評定	A	A	A						
第4 短期借入金の限度額									
研究開発	-	-	-	-	-	-	-	1	
森林保険	-	-	-	-	-	-	-	2	
水源林造成事業	a	a	a	B	B	B	B	3	
大項目別評定	A	A	A						
第5 不要財産の処分及び不要財産以外の重要な財産の譲渡に関する計画									
不要財産の処分及び不要財産以外の重要な財産の譲渡	a	-	a	B	B	B	B		
大項目別評定	A	-	A						
第6 剰余金の使途									
研究・育種勘定	-	-	-	-	-	-	-	1	
水源林勘定	-	-	-	-	-	-	-	2	
特定地域整備等勘定	-	-	-	-	-	-	-	3	
大項目別評定	-	-	-						
第7 その他農林水産省令で定める業務運営に関する事項									
施設及び設備に関する計画	a	a	a	B	B	B	B	1	
人事に関する計画	a	a	a	B	B	B	B	2	
環境対策・安全管理の推進	a	a	a	B	B	B	B	3	
情報の公開と保護	a	b	a	B	B	B	B	4	
積立金の処分	a	a	a	B	B	B	B	5	
大項目別評定	A	A	A						

理 事 会 資 料
平 成 2 8 年 9 月 9 日

平成 2 8 年度の会計監査人の決定について

本年度第 4 回理事会において、平成28年度会計監査人候補者の農林水産大臣への選任請求について承認を得て、手続を進めてきたところ、先般、農林水産大臣から選任請求どおり会計監査人を選任したとの通知があったのでお知らせします。

記

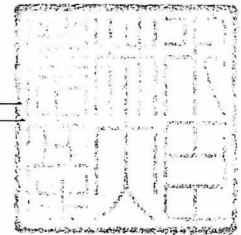
平成28年度会計監査人 有限責任監査法人トーマツ



28林整研第153号
平成28年8月24日

国立研究開発法人森林総合研究所
理事長 沢田 治雄 殿

農林水産大臣 山本 有二



国立研究開発法人森林総合研究所の平成28年度の会計監査人の選任について

平成28年7月8日付け28森林総研第551号により請求のあった標記の件については、独立行政法人通則法（平成11年法律第103号）第40条の規定に基づき、請求どおり有限責任監査法人トーマツを会計監査人に選任したので、通知します。



理 事 会 資 料
平成28年9月9日

[平成28年度補正予算の概要]

**国立研究開発法人森林総合研究所災害復旧事業
(国立研究開発法人森林総合研究所施設整備費補助金)
【1,050百万円】**

対策のポイント

熊本地震により被災した国立研究開発法人森林総合研究所九州支所（熊本市）及び九州育種場（合志市）の研究施設、研究設備の修繕や更新等を実施します。

<背景／課題>

- ・国立研究開発法人森林総合研究所九州支所及び九州育種場は、林業の成長産業化を支える重要な研究を担っています。
- ・平成28年熊本地震により、九州支所及び九州育種場においては、壁のひび割れや天井の崩落により立入禁止の措置がとられている研究施設があるほか、研究設備が破損したため、重要な研究の一部が実施できない状況となっています。
- ・九州支所及び九州育種場の研究施設、研究設備等の復旧事業に速やかに着手し、一刻も早く研究を再開させる必要があります。

政策目標

安全な研究環境を整え、林業の成長産業化を支える重要研究を再開させ、林業振興に貢献

<主な内容>

国立研究開発法人森林総合研究所災害復旧事業 1,050百万円

(1) 九州支所の施設、設備等の復旧

特殊実験棟の建替、研究本館他9施設の修繕、恒温恒湿装置他10設備の更新・修繕等を実施します。

(2) 九州育種場の施設、設備の復旧

研究実験棟他6施設の修繕、画像解析設備他3設備の更新を実施します。

補助率：定額
事業実施主体：森林総合研究所

[お問い合わせ先：林野庁研究指導課 (03-6744-2312)]

平成28年度水源林造成事業等予算の概要（第2次補正追加）

（平成28年8月24日閣議決定）

国立研究開発法人森林総合研究所 森林整備センター

区 分	28年度予算額 金額（A）	熊本地震復旧等 予備費 金額（B）	28年度2次補正 追加（C）	28年度改予算額	
				金額（A+B+C）	伸率
＜公共事業＞	百万円	百万円	百万円	百万円	%
水源林造成事業					
国庫補助金等	25,331	50	4,501	29,882	118.0
借入金	6,200	—	—	6,200	100.0
財政融資資金借入金	6,200	—	—	6,200	100.0
＜非公共事業＞					
幹線林道事業移行円滑化対策					
森林整備・保全費					
幹線林道事業移行円滑化対策交付金	125	—	—	125	100.0
放射性物質対処型森林・林業復興対策実証事業					
森林整備・保全費	（注）			（注）	
水源林復興促進対策費補助金	37	—	—	37	100.0

（注） 復興庁予算として計上

理 事 会 資 料
平成28年9月9日

[平成29年度予算概算要求の概要]

国立研究開発法人森林研究・整備機構[※]研究・育種勘定運営費交付金 【10, 158, 381（10, 185, 296）千円】

事業のポイント

森林・林業に係る試験・研究や林木の優良な種苗の生産・配布等を行うことにより、森林の多面的機能の発揮や、林業技術の向上を図ります。

（国立研究開発法人森林研究・整備機構の業務）

- ・森林及び林業に関する総合的な試験及び研究、調査、分析、鑑定並びに講習等を実施します。
- ・林木の優良な種苗の生産及び配布等を実施します。

政策目標

- 森林及び林業に関する総合的な試験・研究及び林木育種事業を着実に推進します。
- 国立研究開発法人森林研究・整備機構の中長期目標を達成します。

<内容>

農林水産大臣から示された「中長期目標」を達成するため、我が国の森林・林業の再生、地球温暖化の防止、生物多様性の保全等森林・林業分野における行政課題に対応した試験・研究を実施します。

<交付率>

定額

<事業実施主体>

国立研究開発法人森林研究・整備機構

<事業実施期間>

平成28年度～平成32年度（5年間）

※平成28年5月の森林法等の一部改正（平成29年4月1日施行）により国立研究開発法人森林総合研究所の名称を国立研究開発法人森林研究・整備機構に改称

[担当課：林野庁研究指導課]

国立研究開発法人森林研究・整備機構※施設整備費補助金
【219, 240(215, 254)千円】

事業のポイント

森林・林業に係る試験・研究や林木の優良な種苗の生産・配布等を行うのに必要な施設の改善等を行うことにより、これらの業務の円滑な実施を図ります。

(国立研究開発法人森林研究・整備機構の業務)

- ・森林及び林業に関する総合的な試験及び研究、調査、分析、鑑定並びに講習等を実施します。
- ・林木の優良な種苗の生産及び配布等を実施します。

政策目標

- 森林及び林業に関する総合的な試験・研究及び林木育種事業を着実に推進します。
- 国立研究開発法人森林研究・整備機構の中長期目標を達成します。

<内容>

北海道支所暖房設備改修、林木育種センター木材組織解析室改修（ゲノム育種推進拠点施設整備）を実施します。

<補助率>

定額

<事業実施主体>

国立研究開発法人森林研究・整備機構

<事業実施期間>

平成29年度

※平成28年5月の森林法等の一部改正（平成29年4月1日施行）により国立研究開発法人森林総合研究所の名称を国立研究開発法人森林研究・整備機構に改称

[担当課：林野庁研究指導課]

平成29年度水源林造成事業等予算概算要求の概要

国立研究開発人森林総合研究所 森林整備センター

区 分	28年度予算額	29年度要求額	対 前 年 度	
			増(△)減額	伸 率
<公共事業> 水源林造成事業 国庫補助金等 (一般会計) (東日本大震災復興特別会計) 借 入 金 財政融資資金借入金	百万円 25,331 (24,845) (486) 6,200 6,200	百万円 27,542 (27,037) (505) 5,900 5,900	百万円 2,211 (2,192) (19) △ 300 △ 300	% 108.7 95.2 95.2
計 国 費 借 入 金	 25,331 6,200	 27,542 5,900	 2,211 △ 300	 108.7 95.2
<非公共事業> 幹線林道事業移行円滑化対策 森林整備・保全費 幹線林道事業移行円滑化対策交付金	 125	 125	 0	 100.0
放射性物質対処型森林・林業 復興対策実証事業 農林水産業復興政策費 水源林復興促進対策費補助金	 (注) 37	 (注) 37	 0	 100.0

(注) 復興庁予算として計上